2025 年度
第 10 号

体育市民連帯
ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1 柳承敏大韓体育会長が「体育行政」の成功者として記憶されるためには

2 大韓体育会 選手·指導者の権益保護と被害防止の先頭に立つ」

3 プロサッカー幼少年サッカーチームの監督·コーチも労働者 退職金、年次手当て支給へ

4 初の女性 IOC 委員長 コヴェントリーは誰？

5 女子陸上競技で 10 秒差で 圧倒的 1 位になった トランスジェンダー

*

ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号　TEL 02-2279-8999

体育市民連帯　ニュースレター　2025 年　第 10 号　　2025.3.25

01　オーマイニュース　2025.03.24
柳承敏大韓体育会長が「体育行政」の成功者として記憶されるためには、

新しく選出された柳承敏大韓体育会長が 2 月 28 日、本格的な任期に入った。スポーツ関連ニュースで連日柳会長の歩みとインタビューを盛り込んだ記事が殺到するのを見ながら、大韓民国の体育発展のために熱心に走っているという考えと期待感がある。 ただ、スポーツ選手としてメダリストの栄誉と IOC 選手委員、卓球協会長を経て、直ちに大韓体育会長に選出される過程が、いわゆるエリートとしての経験に過度に偏っているという点で、学校体育、社会体育、専門体育など、韓国の体育界の多層的かつ多面的な特性を併せ持つことができるか心配でもある。

21<スポーツ朝鮮>創刊特集で載せられた柳会長のインタビュー記事を見れば、そのような点を確認することができる。 柳会長はインタビューで「学校体育に誰よりも本気」とし、米国の体育授業事例を挙げている。 一般学生たちが「放課後に義務的に 1 時間ずつ種目を選択して運動」をするとし、我が国も「公教育の中で学生の誰もがスポーツ一種目を学んで卒業」できるよう学校体育活性化に対する自身の意志を表明した。

続けて「私たちの学校体育は学生選手の運動部も等閑視し、一般学生のスポーツ活動も安易に考えている」として「米国、日本のように学校で誰もがスポーツをまともに楽しんで学ぶ環境は作ってくれず、『最低学力制』のような規制だけを真似している」と批判し、「米国は運動が上手ならばハーバード大学にも行けるのに、私たちは『体育特技者がソウル大主要学科に行けないように、制度的に阻まれている』と指摘しながら『自発的動機付与を導く教育システム』を主張したりもした。

アメリカの学校スポーツの一面的な理解と誤り

柳会長のインタビュー内容を要約すれば、一般学生の体育活動の活性化とともに、学校運動部の学生選手に対する学校の行政管理と大学進学制度の改善が必要だという主張だ。 彼はこのために「できることから一つずつ」改善するためにすでに教育監と協議しようとする実践力を見せている。 柳会長の歩みを見て、学校体育に対する真心と実践力を認め、彼が繰り広げる体育改革の青写真を期待することになる。 ただ、彼が米国と日本の一面的な事例を一般化し、まるで韓国で学生選手を規制だけしているかのように話すことに対しては批判したい。

まず、柳会長の言葉のように、米国のすべての学生が放課後に義務的に運動をするということは事実ではない。 おそらく柳会長が見た「オバマ財団」プログラムは学校や教育庁単位で実施する内容と理解される。 米国は州ごとに独自に多様な教育政策を展開するため、韓国のように一元化された方式で接近するのは一般化の危険性がある。 米国も最近は高校の体育科目を選択科目として実施する地域もあると伝えられ、体育授業を通じたスポーツ活動がない事例も伝えられている。

にもかかわらず、米国が「スポーツの天国、学校体育の天国」である代表的な国家と呼ばれる理由は、放課後スポーツ活動の活性化にある。 米国の学校運動部を管轄する教職者中心団体である NFHS(National Federation of State High School Associations)によると、米国の 1 万 9500 の高校で 1200 万人以上の青少年が学校運動部活動に参加している。 韓国とは比較にならない参加率にただ驚くべきでうらやましいだけだが、重要な点は米国の学校運動部活動が韓国とは根本的に違うという点とその理由を理解してこそ学校体育天国の門を叩くことができる。

学校スポーツ天国の核心は教育の一部であるスポーツ哲学

米国の学校運動部の活動は徹底的に学校の授業後に実施され、韓国のように授業に欠席しながら運動するというのは想像できないことだ。 特に、学校の運動部活動に参加するためには、定められた学業成就度に到達しなければならない。 一般の学生たちと同じく学業に充実しながらも、追加してスポーツ活動をするという点が、米国の学校運動部活性化の本質的な理由だ。 彼らにとって、学校運動部への参加を通じたスポーツ活動は、学校活動の充実に土台となる特権（privilege）として受け止められる。
オバマ前大統領をはじめ、米国の歴代大統領の大多数が学校運動部活動をしたという事実は、すでによく知られている。 これは米国の学校運動部が韓国のように「運動さえうまくできれば」学業と関係なくハーバード大学にも行けるという柳会長の主張が事実と違うことを意味する。 むしろ、米国の学校運動部では、運動をするためには必ず勉強と並行するようにすることで、米国社会の真のエリートに成長できるように助ける。 そのような意味で、米国の学校運動部は知的な素養と運動能力を兼ね備えた完全な意味の全人教育システムと理解できる。 その核心は何よりも学校運動部が教育の観点で徹底的に運営されているという点だ。

韓国の学校体育に対する誤認

また、柳会長は韓国の学校体育に対する多少悲観的な見解を示しているが、これは最近の学校体育活性化のための改善の努力と変化の流れに対する理解不足と判断される。 おそらく彼は、学校運動部の学生選手が減っている現実を、教育政策と現場の努力不足のせいだと考えているようだ。 そのような偏見は学校運動部の参加率が落ちる原因を学校体育が活性化されない理由から探しているために生じた誤認だと考える。
たとえ学校体育の活性化が実現したとしても、学校運動部の学生選手の増加につながる可能性は低い。 なぜなら、現在の学校運動部の運営方式は、学校教育の教育的論理ではなく、専門体育の競技力向上の論理が適用されるためだ。 すなわち、学校内で運営されているが、学校教育とは距離が遠い専門体育分野と体育会の利害関係を反映しているためだ。 このため、一般学生の関心から遠ざかって久しい。 甚だしくは運動をしたい生徒たちも学校の運動部に加入することを憚る現実だ。

学校スポーツ活性化のための教育者の努力

実は最近、韓国でも「1 人 1 スポーツ」を旗印に放課後学校スポーツクラブが盛んに活性化段階に入っている。 教育部<2025 学校体育活性化施行計画>によると、2024 年基準で全国に学校スポーツクラブ 13 万 5633 チームで 319 万 6604 人が活動した。 おそらく柳会長はこれまでエリート体育分野だけに専門性を持ってきたので、韓国の学校体育がどのように変化しているのか具体的な実情に対する理解が制限的だった

だろう。 もちろん、学校のスポーツクラブ活動が非常に活性化されている中学校に比べ、入試ドライブが本格的に稼動する高校には多少参加率が落ちるのが事実だ。
それにもかかわらず、高校のスポーツクラブ活動が持続成長の勢いであることは明らかだ。 合わせて教育部と教育庁の多角的な政策努力を基盤に学校体育現場では毎学期体育授業を実施し、放課後学校スポーツクラブ活動を通じて何とか生徒たちの体育活動が止まらないように努力している。 ここに学校運動部活性化のためにも多角的に努力しているが、加入しながら勉強と「縁切り」しなければならない韓国の学校運動部の現実的条件のために学生、保護者の忌避現象を克服することは難しい。
柳会長の希望のように「自発的動機付与システム」を備えるためにも学校運動部と断絶した学校体育状況の改善は至急な課題だ。 そのためには、何よりも学校運動部が教育的な運営方式に転換されなければならず、学校教育の実質的な教育空間に認識を転換する努力が必須だ。 しかし、現実はそれとは反対に学生選手が運動に専念できるようにしなければならないという主張によって授業を抜ける日がさらに増えている。 それさえも学業の必要性に対する最小条件でも用意するための装置である「最低学力制」をなくそうという主張が進行中だ。

学校体育の自律性に対する認識の必要性

柳会長の言葉のように学生たちが「自発的動機付与」を通じて学校運動部に参加するようにするためには専門体育中心の思考から抜け出さなければならない。 すなわち、学校運動部が競技力向上だけでなく、教育力向上のための場所になるようにしなければならない。
学校体育に対する一面的理解と専門体育中心の観点にもかかわらず、柳会長を通じて韓国体育の発展的改革を期待する要求は持続するだろう。 体育改革を越えてスポーツ先進化の成否は、学校体育と学校運動部問題の本質に近づく努力がどれだけできるか、そしてその過程を通じて偏見から脱して哲学と思考の柔軟性をどれだけ発揮できるかにかかっている。
米国や日本など学校体育がよく運営されている国々に関する深層的研究と深みのある議論過程が優先だ。そして学校体育の方向性に対する多層的、多面的理解がより一層深まれば、それでも大韓体育会行政が一段階跳躍する契機になるだろう。 後日、期待以上に体育行政でも成功したメダリスト出身の大韓体育会長として記憶されることを期待する。
出典：https://www.ohmynews.com/NWS_Web/View/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0003112970

02　ハンス経済　2025.03.20
大韓体育会、「選手·指導者の権益保護と被害防止の先頭に立つ」

大韓体育会が最近報道されたバイアスロン国家代表選手選抜戦関連論難に対して、選手たちの権益侵害有無を迅速に把握し先制的に措置した。 体育会は「選手保護のために積極的に乗り出す」と伝えた。
18 日、MBN は所属チーム全南体育会の指示で昨年ハルビン冬季アジア競技大会バイアスロン国家代表選抜戦に参加しなかったが、国家代表資格停止 2 年懲戒危機に処したロシア出身帰化選手ティモフェイ·ラプシン、アレクサンドル·スタロドゥベツに対して報道した。

大韓体育会は「大韓民国体育の未来100年を準備する過程で、選手と指導者の人権を強化し権益を保護するための努力の一環として『選手指導者支援部』を鎮川国家代表選手村内に新設した」とし、「該当部署は選手指導者たちの権益向上業務を総括する役割を担当する」と説明した。
続いて「大韓バイアスロン連盟の国家代表選抜戦過程で発生しうる選手たちの不利益を予防する措置として、該当連盟に憂慮の意を伝えた。 今後、連盟の意思決定の際、所属選手の自由意志による選択と意見が尊重されるよう、十分な意思疎通の手続きを設けることを要請した」とし、選手たちが不利益を受けないように乗り出したと話した。
大韓体育会は「選手と指導者の尊厳と権利を保障し、自由で公正なスポーツ環境を作るために制度的な補完措置を持続的に推進する」と付け加えた。
出典：https://www.hansbiz.co.kr/news/articleView.html?idxno=739746

03　京郷新聞　2025.03.23

裁判所、「プロサッカー幼少年サッカーチームの監督·コーチも労働者……退職金、年次手当て支給へ

プロサッカー団で幼少年チームの監督とコーチとして働いた個人事業者も労働者と見て退職金と年次手当てを支給しなければならないという裁判所の判断が出た。
23日、労働人権団体職場パワハラ119によれば、釜山地方裁判所民事16単独オ·セヨン判事はプロサッカー団釜山アイパークの幼少年チーム監督とコーチとして仕事をして退職したA氏とB氏がサッカー団を相手に年次休暇手当てと退職金などをくれと提起した訴訟で8490万ウォン余りと3596万ウォン余りを各々支給しろと12日判決した。
A氏とB氏はHDCスポーツが運営会社であるプロサッカー団釜山アイパークの幼少年チームでそれぞれ14年、10年間働いた。 球団側は彼らを個人事業者と見て、4大社会保険に加入させずに勤労所得税ではなく事業所得税を源泉徴収した。
裁判所は「原告らが被告から相当な指揮·監督を受けるなど賃金を目的に被告と従属的な関係で勤労を提供したと見ることが妥当だ」として労働者性を認めた。 2人は該当サッカー団以外の他の球団とは類似の業務をする契約を結ぶことができず、監督とコーチ業務の他にも各種会議に参加して球団側に報告しなければならない義務があった。
球団規定や契約に違反すれば罰金100万ウォンを払うようにした契約条項も、彼らが従属的な関係で労働者として働いた根拠になった。 A氏とB氏は外部日程がない時は球団事務室に9時前まで出勤し、午後6時まで働きながら外部出張に行く時は球団承認を受けた。
未使用年次手当てと関連して球団側は2人が勤務期間に有給休暇を使ったという主張を展開したが、裁判所は「原告らが有給休暇をすでに使用し、それに関する権利が消滅したという事実に対する証明責任は使用者にある」とし、「『勤怠管理』を疎かにして原告らの有給休暇使用有無を証明できない責任は使用者が負うのが妥当だ」と判断した。 ただし週休手当ては2人が決まった年俸を12ヶ月に分割し毎月賃金を受け取った点に照らしてすでに受け取ったと判断した。

チャン·ジェウォン職場パワハラ 119 弁護士は「労働者として仕事をさせ個人事業者に偽装させ勤労基準法上の使用者責任を回避している数多くの事業場に警鐘を鳴らす判決」とし、「こういう偽装フリーランサー契約慣行が根絶される必要がある」と話した。

出典：https://www.khan.co.kr/article/202503231447001

04　京郷新聞　2025.03.21

初の女性 IOC 委員長、コヴェントリーは誰？

ジンバブエのカースティ·コヴェントリー（41）が国際オリンピック委員会（IOC）初の女性およびアフリカ出身委員長に選出され、コヴェントリーの履歴に関心が集まっている。

コヴェントリーはジンバブエの「国民的英雄」と呼ばれた水泳選手でありジンバブエの長官だ。

04 年アテネ五輪と 08 年北京五輪で 200 メートル背泳ぎで金メダルを獲得し、16 年リオデジャネイロ五輪を最後に引退するまで、計 7 つのメダルを獲得した。 これはアフリカ選手の中で最も多いものだと AP 通信は報道した。

女性水泳選手として最高の技量と華麗な履歴を持つが、自由を抑圧する権威主義的なジンバブエ国家で長官職を引き受け批判の対象にもなった。 コヴェントリーはジンバブエの青少年スポーツ芸術レクリエーション部長官を務めている。

04 年、アテネで 3 つのメダルを獲得した後、独裁者として非難されたロバート·ムガベ元ジンバブエ大統領は、コヴェントリーを「黄金の少女」と呼び、国民英雄として称えた。 08 年、北京で 4 つのメダルを追加した後、ムガベから補償として 10 万ドルを受け取った。 当時、ジンバブエの国民は深刻なインフレで飢えに苦しんでいたため、コヴェントリーが補償金を受け取ったことに対する非難が提起されたりもしたと、英ガーディアンは伝えた。

ムガベは 37 年間執権し、2017 年に軍部クーデターで追放された。 ジンバブエを英国植民主義から解放し、少数白人の統治から解放した英雄として一時称賛されたが、長期執権期間の腐敗と集団虐殺、白人に対する人種差別などで「独裁者」と呼ばれた。

コヴェントリーはムガベがクーデターで追い出された後、現大統領のエマーソン·ムナンガグア行政府で長官になった。 ムナンガグアはムガベ政権で副大統領を務めたため、人権団体は彼がムガベの抑圧的政策を継承したと批判している。

AP 通信は、彼女が若くて政治的経験がほとんどなかったため驚くべきことだったが、コヴェントリーが白人だからこそ可能なことだったと評価した。 コヴェントリーは 2023 年、同じ部署の長官に再任命された。

コヴェントリーは 20 日（現地時間）、ギリシャのコスタ·ナバリノで委員長を選出した直後に開かれた記者会見で、このような批判に対して「私の国と関連して、内部で変化を作っていく」と明らかにした。 さらに、IOC 委員長職を遂行するために長官職を辞任する可能性が高いと明らかにした。

ガーディアンはまた、コヴェントリーがスポーツ担当省庁の長官職遂行能力に対する批判も受けていると報道した。 ジンバブエは2020年からアフリカサッカー連盟によって国家代表チームの試合を開催することが禁止されているが、安全基準に合う競技場がないという理由だった。 コヴェントリーは長官を務めながら、これを直さなかったという指摘を受けた。

しかしガーディアンは、コヴェントリーが故国で身につけた政治的技術がIOCで非常に有用だということが立証されたと評した。 2012年のロンドン五輪期間にIOC選手委員に当選したコヴェントリーは、前任のトーマス·バッハ委員長の後任として急速に浮上した。

この日、委員長選出直後に開かれた記者懇談会でコヴェントリーは「私は20才から高い地位にある難しい男たちを相手にしてきた。 コミュニケーションが核心だということを学んだ」と自信満々な態度を見せた。

続いて「今回の結果はIOCが真にグローバルで多様性を受け入れる組織に成長したことを示す強力なシグナル」と明らかにした。

出典：https://www.khan.co.kr/article/202503211240001

05　インサイト　2025.03.24

女子陸上競技で10秒差で圧倒的1位になったトランスジェンダー

米オレゴン州で開かれた女子高校陸上競技でトランスジェンダー選手の優勝が議論を呼んでいる。

19日、ポートランド高校生リーグチャンピオンシップでマクダニエル高校のエイデン·ギャラガーが女子200mと400m競技で全て優勝した。

ギャラガーは身長180cm、体重約70kgで、400m競技で57.62秒で決勝ラインを通過し、シーズン記録を立てた。 これは1分5.72秒で2位を占めたキナリ·スパントンよりほぼ10秒リードした記録だった。

ギャラガーはまた、200メートル種目でもシーズン記録の25.76秒をマークし、2位の選手より1.5秒早い記録で優勝した。

このような結果はソーシャルメディアを通じて急速に広がり、トランスジェンダー選手の女性スポーツ参加に対する論争を呼び起こした。

先立ってギャラガーは2023年、高校新聞とのインタビューではホルモン代替療法を受ける計画だとし「今すぐはひげが多くなるなど、さらに男性らしくなっているが、そのようなことは望まない」と告白した経緯があり、論難が大きくなるものと見られる。

全米大学体育協会(NCAA)水泳選手出身のライリー·ゲインズはソーシャルメディアを通じて「また別の日、また別の男子選手が女子スポーツを支配している」として強く批判した。

ゲインズは「ギャラガーがシーズン記録を立て、最速の女子選手より7秒以上リードした」とし「彼は恥ずかしさがないのか？ 彼の両親は恥を感じないのか」と指摘した。 このような批判にもかかわらず、ギャラガーは自身の自叙伝で「数千人の人々が私が止まることを願って私の正直性を疑う時にも私は走り続けることができる」と明らかにした。 今回の事件は、米国内のトランスジェンダー運動選手の女性スポーツ参加に対する論争をさらに加熱させている。

一部の人々はトランスジェンダー選手が生物学的な違いによって公正な競争を妨害すると主張する反面、他の人々は性アイデンティティにともなう差別なしにすべての人がスポーツに参加する権利があると主張する。
ここ数年間、多くの州ではトランスジェンダーの学生運動選手の参加を制限したり禁止する法案を推進してきた。 このような法案は公正な競争環境を作るためのものだという主張があるが、人権団体はこれを差別的な措置と見て反発している。
トランスジェンダー運動選手の問題は単にスポーツ分野に限らず、社会全般にわたって性アイデンティティと関連した複雑な倫理的、法的問題を提起している。
今後もこれと関連した論争は続くものと見られる。
出典：https://www.insight.co.kr/news/496271

06　週間スポーツニュース

「殺そうとして我慢して」･･･ソウル市体育会「言語暴力」加害者懲戒事由該当
https://www.newsis.com/view/NISX20250318_0003102517

国民体育振興公団、2025 スポーツアカウント母体ファンド運用会社募集
https://www.hankyung.com/article/202503244103i

「フットサル場事故を防ごう」世宗市、公共体育施設 46 カ所を特別点検
https://www.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0027890900&code=61121111&cp=nv

京畿道体育振興基金、民間補助金「半分以上」･･･ 効率性論争
https://sports.donga.com/region/article/all/20250324/131267541/1

特恵採用疑惑、安東市体育会、役員らが相次いで表明
https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2025032407470002361?did=NA

梁山市「ファンサン公園」体育人でにぎやか･･･「ホットプレイス」として登場
https://www.iusm.co.kr/news/articleView.html?idxno=1049966

「個人情報流出･補助金専用の中身」･･･ 安東市体育会「絶体絶命」
https://www.pressian.com/pages/articles/2025032410335485156?utm_source=naver&utm_medium=search

大田市議会のチョ･ウォンフィ議長「生活体育インフラ造成の先頭に立つ」
https://daily.hankooki.com/news/articleView.html?idxno=1194224

「地方体育のためにスポーツ改革 TF チームを運営する」

http://www.knnews.co.kr/news/articleView.php?idxno=1456414

体育市民連帯オンライン　定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行　086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯　ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号
Tel：02-2279-8999、E-mail：sports-cm@hanmail.net　ホームページ：　http://www.sportscm.org/
日本語訳：佐藤好行　新日本スポーツ連盟　国際活動局　韓国担当　jr1fep@gmail.com
週刊ニュースレターバックナンバー（資料室）　http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html